



大きく成長を続ける「ど根性カボチャ」

## 火ノ浦に『ど根性カボチャ』出現

7月30日、火ノ浦の小島幸助さん宅を訪問すると、玄関先に大きな植物が生えていました。

この植物について小島さんに尋ねると、「カボチャです」とのこと。玄関のタイルとコンクリートの切れ目から、一本の茎が5メートル以上伸び、たくさん葉と実を1個付けていました。小島さんの妻、行子さんは「梅雨時期にどんどん伸びて花も咲きました。もつと大きかったのですが、葉と実は切り落としました」。少ない養分で成長するには、葉や実が多すぎると成長できないとの愛情でしょう。行子さんは、コンクリートに竹やごみを敷き、コンテナ等で日光をさえぎって、暑さ対策をしながらこのカボチャの成長を支えてきたそうです。

カボチャを大切に见守る行子さんは「実が食べられるようになるころまで育ってくれたら」と話していました。

この場所にカボチャが生えた原因は、不明だそうです。